

農技セ第6519号
平成27年10月16日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成27年度技術情報について

平成27年度技術情報第8号を公表したので送付します。

平成27年度技術情報第8号

平成27年10月16日
徳島県

本年7月に板野郡板野町モモ園において発生を確認したクビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*) の発生状況を8月に調査したところ、板野郡板野町のモモ、スモモ、ウメの栽培地域の他に、同町と鳴門市大麻町のサクラ樹においても発生を確認しました。現地においては発生樹における適切な防除指導をお願いします。

1. 病虫害名 クビアカツヤカミキリ *Aromia bungii*
2. 発生地域 板野郡板野町と鳴門市大麻町
3. 発生状況
 - 1) 各樹におけるフラスの発生状況
以下の園地等において本虫によるフラスの発生を確認した。
 - ①モモ30園地、864樹のうち、17園地、130樹に発生。最も著しい園では約87%の樹に発生。
 - ②ウメ8園地等(学校、寺院内の植栽樹含む)、318樹のうち、3園地等、7樹に発生。
 - ③スモモ1園地、1樹のうち、1園地、1樹に発生。
 - ④カキ6園地、34樹では、発生なし。
 - ⑤サクラ50か所、1,796樹のうち、9か所、43樹に発生。
 - 2) 成虫の発生状況
以下の園地等において本虫成虫の発生を確認した。
 - ①モモ8園地で17頭。
 - ②サクラ5か所で7頭。
4. 防除対策
フラス発生樹では樹内に幼虫が生息していることから、現時点では翌年の羽化成虫の分散を防止するために以下の処置を施す。
 - 1) 成虫の脱出予定孔を見つけた場合には、接着剤等で孔を塞ぐ。
 - 2) 成虫が羽化すると考えられる6月までにシュロ繊維やネットをフラス発生孔のある樹幹部に巻き付ける。この際、樹と被覆資材の間に隙間が生じないように十分注意する。



図1 地際部におけるフラスの排出



図2 樹幹に寄生した成虫